

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	教職概論					授業形態		講義		
科目コード	750064	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	植村 秀人							ICT活用	○	
授業概要	教育職員免許法では、教員免許状取得のためには、「教職の意義などに関する科目」の履修を課している。 教員の仕事を考えるときに現代は、教員の協力が重視されている。これは、同一校種間だけでなく、同校種間や異なる校種間に置いて同じである。本科目では、学校間の連携の視点も含めたなかで、教師の仕事について学ぶこととする。このことによって、中学校、高校、栄養教諭という狭い範囲だけでなく、日本の公教育全体における教諭の役割を踏まえた教師の資質を育てることにつながる。 また、本講義は、教職課程導入科目である。このため、教育職員免許法で指定されている内容は当然行うが、上記の中でも重要な3年6カ月間の学習に必要な、教職への意識や意欲を形成し高めることも目的とする。									
関連する科目	本科目は前期集中講義として実施予定。前期通常開講の日本国憲法を履修すること。また、教職課程資格審査及び今後の履修を考慮して前期履修状況を良好とするよう努力していただきたい。 本科目受講後は、教職課程開講科目教育学概論や取得免許に関係する学科専門科目等を履修要項に基づいて履修していくこととする。									
授業の方法と進め方	本授業は本授業は、講義形式でハイブリット形式で実施する(予定である)。 具体的には、11回分のオンデマンド型授業と4回分の対面型授業を組み合わせで行います。オンデマンド型授業はMoodleによる授業動画の視聴による実施とし、対面型授業は夏休みの集中講義として1日で4回分を実施します。それらを踏まえて以下の点、確認してください。 オンデマンド型授業 1. 5月以降定期的に授業動画(第1回から第11回相当)を配信する。 2. 各回(第1回から第11回)について、それぞれの指定期日までに視聴しミニレポートを提出する。 3. 授業動画の視聴及びミニレポートの提出をもって該当回の出席とする。 4. 特別な事情によらない場合には、指定期日の超過は認めない。 5. オンデマンド型授業における欠席が6回以上の受講生は、対面型授業の受講を認めない(グループワークの配当を行わない)。 ※欠席(未視聴・未提出)が5回までは対面型授業の受講資格はあるが、大幅な減点となり単位不可の可能性があるので必ず視聴すること。 対面型授業 1. 対面型授業は、都城キャンパスにて1日(4回分)を行う。 2. オンデマンド型授業を6回以上受講していることが受講条件である。 3. 受講者同士の意見交換などを取り入れ、受講者が主体的に学ぶような機会を設けるので積極的に参加してほしい。									
第1回	オリエンテーション・教員になるために(テキスト第1章) 教員の意義や教員を目指す上での留意点を中心に扱う。									
第2回	教員養成の歴史(テキスト第2章) 教員に求められる資質能力の変化から教員養成のあり方も変わってきたことを中心に扱う。									
第3回	学び続ける教師・教員採用選考試験(テキスト第3章・第4章) 養成・採用・研修の一体化の観点から、教員育成指標・教員採用試験・研修やキャリア形成について扱う。									
第4回	校務分掌と教員組織、チーム学校(テキスト第5章及び第6章) 校務文章と教員組織について知り、チーム学校が必要な背景を理解し、教職員及び関係機関と協力に必要な資質の形成を考える。									
第5回	教員の仕事内容と規則①(テキスト第7章～第9章) 教員の服務・身分保障や教員の仕事の概要(1日の仕事内容や事務業務(事務業務におけるICTの活用))について扱う。									
第6回	教員の仕事内容と規則②(独自資料) 教員に関する法律(学校教育法における教諭・栄養教諭を含む教職員の規定、懲戒・体罰の禁止等)を取り扱う。									
第7回	学級運営、児童生徒への対応(テキスト第10章及び第11章)									
第8回	保護者への対応(テキスト第12章) 保護者への対応や児童生徒の抱える家庭問題(児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー)を取り扱う。									
第9回	いじめと不登校(テキスト第13章) いじめと不登校問題を取り扱う。									
第10回	学校安全(テキスト第14章) 学校の安全問題を取り扱う。									

第11回	教職の今後に向けて、対面型授業に向けた準備(テキスト第15章) オンデマンド型授業のまとめ、教員育成指標、対面型授業に向けた課題設定などについて説明する
第12回	教員として必要な資質とは何か？①（議論） 教員として必要な資質について考えグループで議論する。また、第3者との意見交換を通して同僚などと協力する資質(コミュニケーション能力)の形成を図る。
第13回	教員として必要な資質とは何か？②（まとめる） 教員として必要な資質についての考えをグループでまとめる。また、第3者との意見をまとめるワークを通して、同僚などと協力する資質(コミュニケーション能力)や表現する力の形成を図る。
第14回	教員として必要な資質とは何か？③（発表と考えの深化） 教員として必要な資質についての考えをグループ毎に発表し、考えを深める。また、グループ協議を発表することを通して、同僚などと協力する資質(コミュニケーション能力)や表現する力の形成を図る。
第15回	卒業生講演及び授業のまとめ 卒業生からの講演を聞き授業で学んだことを深める。授業をまとめる。
授業の達成目標	①教員の仕事内容と仕事の特性について理解する。 ②教職の専門性について理解する。 ③教員と関連する法令について理解する。 特に、学校教育法および教育公務員特例法・地方公務員法の関連条文を理解する。 ④現代教育の課題と教員の役割について理解する。 特に、いじめ・体罰・児童虐待・児童の貧困問題への理解、近年の教育改革の同校と教員の資質向上など。 ⑤①～④を踏まえ教職課程の受講者としての姿勢を考え、教員免許取得だけでなく教員として必要な資質について理解する。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(1)
授業時間外学習【予習】	1. 事前にテキスト（第1章から第15章）を読み理解すること（各章1時間程度）。 2. グループワークの資料を準備すること（1時間）。
授業時間外学【復習】	1. ミニレポート作成（オンデマンド型授業毎に各1時間程度計11時間程度） 2. テキスト・配付資料などの振り返り（8時間） 3. 最終レポート作成(3時間程度)
課題に対するフィードバック	紙媒体の提出物は、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。
評価方法・基準	①オンデマンド型授業のミニレポート 55点(11回×5点) ②対面型授業グループワーク 20点 ③対面型授業講演感想文 10点 ④最終レポート 15点 注意 注意1：オンデマンド型授業(第1回から第11回相当)は、授業回ごとにミニレポートの締め切りを設定するのでその日までに提出すること。 注意2：ミニレポートは、動画の視聴していることを条件とする。また、特別な事業がないかぎり遅延の受付はしない。 注意3：対面型授業グループワークは、対面型授業時に実施するグループワーク（個人・グループ）及び発表への評価とする。 注意4：対面型授業講演感想文は、対面型授業時に実施する講演の感想文の評価とする。 注意5：保留となった場合は、2026年2月27日までに指示を受け、2026年3月16日までに指示へ対応（課題等を提出）すること。以後は、不可となる。 注意6：再試は、試験を行う。当初の点数を50％と換算し、試験50点の合計100点で実施し、60点以上を合格とする。ただし、合格者の得点は、実際の得点に関わらず60点とする。
テキスト	「教職論」 ミネルヴァ書房、 広岡義之 監修・編著、林泰成・貝塚茂樹・津田徹 編著、2021年11月25日、ISBN9784623089567、定価2,640円(本体2,400円＋税)。 テキストについて補足 1 授業のほぼすべての回においてテキストを使用しますので購入してください。 2 履修者が確定しましたら大学生協売店に必要な分を発注いたします。 3 授業計画の順番で実施いたしますので、ご注意ください。
参考書	『教職概論 教師の仕事の本質と実際』 「教職概論 第4次改定版 ?教師を目指す人のために?」 佐藤晴雄 学陽書房 教育制度論，教育六法 田中克佳 教育史 加野芳正 新しい時代の教育社会学 木村元 日本の学校受容 片桐芳雄・木村元 教育から見る日本の社会と歴史 神田嘉延 増補版『学校再生論の礎石?人間・国家・地域と学校?』 高文堂出版社

	安彦忠彦・石堂常世 編著 『最新教育原理』 勁草書房 その他、講義中に適宜指示する。
備考	最終レポートについて予告 下記のテーマについてレポートすること。 レポート「講義内容を踏まえ、教員の仕事や使命についてまとめ、あなたの意見を述べなさい。」 作成にあつての注意点 （１）字数 1200字以内とすること。題目や氏名などの記載事項は字数に含まない。 （２）印刷の設定 A4縦長サイズ、両面印刷で2ページ以内（レポート本文が1枚）とすること。 （３）文章形式 横書き 明朝体 10.5ポイントで作成すること。 （４）記載事項 「令和6年度教職概論 事前レポート」・（レポート） 題目(題名のこと)・学科・学籍番号・氏名を必ず記載すること。 （５）その他 準備している表紙を付け、必要事項を記載して提出すること。 （６）なお、本件については、受講生各自の考えを問うものです。間違ってもコピペや自動作文AIなどを使用しないこと。使用した場合は、本授業の成績を0点とします。 ※その他詳細は、授業時に案内します。 以上